

# 平成27年度 加茂市国語部 活動報告

部長 井上 幸信

## 1 研修主題

9年間の系統的・連続的な国語指導の在り方を検討する

## 2 研修の概要

9年間の系統的・連続的な国語指導の在り方を検討するために、以下の研修を行った。

- (1) 教科書検討研修会：教科書会社の編集者から国語教科書の編集意図や使い方のポイントについての説明を受け、授業改善について考える
- (2) 指導力向上研修会：実際に授業を参観し、言語活動という観点から協議を行い、子どもの主体的な学びを引き出す言語活動在り方を検討する

## 3 研修の実際

### (1) 教科書検討研修会

加茂市の小学校は、平成27年度より東京書籍の国語教科書を使用することとなった。また、中学校は平成28年度からも引き続き東京書籍の国語教科書を使用する。この現状を受け、東京書籍より小学校国語と中学校国語の編集者を招聘し、教科書編集の意図や使い方のポイント、小中のつながりなどについての説明を受けた。



研修を記録したグラフィック。左から、小学校教科書について、検討した内容、中学校教科書について。

### (2) 指導力向上研修会

加茂市立石川小学校の校内研修と連携し、公開授業、協議会に参加しての研修を行った。石川小の鎌倉綾香教諭による4年生での授業「ごんの気持ちを理解していることが伝わる手紙を書こう（新美南吉「ごんぎつね」光村図書4年収載）」を参観し、児童・生徒の主体的な学びを引き出す授業の在り方と、言語活動の設定の仕方についての研修を行った。

## 4 成果と課題

小中の教員が一堂に会して教科書について学んだり、主体的な学びや言語活動について研修を行ったりしたことにより、加茂市の国語教育が目指すべき方向が明らかになりつつある。今後も先進的な取組に学んだり、授業を通して学び合ったりすることを通して、教材の活用法や言語活動の組織の仕方など、児童・生徒の学びの土台となる研修を重ね、小学校と中学校とが連携し、9年間で子どもの言葉を育てるという姿勢を共有していくことが必要である。